

# 校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 136

2020/02/10/Mon

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

1・2学年末テストまであと3日 卒業式まであと28日

儒学者、新井白石誕生 1657年

女性解放運動家平塚らいてう誕生1886年

日本ロシアに宣戦布告、日露戦争開戦 1904年

日本プロレタリア作家同盟結成1929年

「立志式」の余韻を残しながら次の目標へ！

## 1・3年生も「立志式」に感動し次のステップへ！

## 2年生は2週間後の「自然教室」の準備を着々と！

記念講演会 ・ 演題：「これからの社会が求める人材」

・ 講師：(株)青木製作所 代表取締役CEO 青木圭太氏

昨年度の本校PTA会長、青木さんの講演は身近なコンビニや学校の授業の話題から世界で活躍する社長の話まで、幅広い視野で社会を捉えた内容でした。「働きたくない大学3年生」の割合が高いことや社長になるために必要な力＝①ビジネスアイデア ②行動力 ③熱意 ④環境適応力 ⑤継続力 を具体的に説明してくれました。ありがとうございました。



式辞(要旨) …これまで立派に育ててくださったご両親・ご家族の皆様、多くの人の愛情とご指導に感謝してほしい。今日は「心の記念日」。

2011. 3. 11. 東日本大震災。宮城県女川中は卒業式前日。町は20. 3mの津波に飲み込まれ、制服もカバンもない、何もかも流された。学校再開後、自分たちの思いを俳句に込めた。かけがえのない宝物を失った状態で俳句など…という声もあったが、震災と向き合おう、素直な気持ちを表現しようとして取り組んだ。

「ふるさとを奪わないでと手を伸ばす」 「ただいまと聞きたい声が聞こえない」

「見上げればがれきの上にこいのぼり」 「窓辺から見えてくるのは未来の町」

絶望の中、何とか前を向き未来へ踏み出そうという思いから、津波対策や自分たちにできる活動はないか話し合い考えた。その一つが「震災の記録を残す＝津波最高到達地点に石碑を建てる」。2014年、第一基完成。石碑に刻まれた生徒の言葉は…

～千年後の命を守るために～ ここは津波が到達した地点なので絶対に移動させないでください。もし大きな地震が来たらこの石碑よりも上へ逃げてください。逃げない人がいても無理矢理にでも連れ出してください。家に戻ろうとしている人がいれば絶対に引き止めてください。今、女川はどうなっていますか？ 悲しみに涙を流す人が少しでも減り笑顔あふれる町になっていることを祈り、そして信じています。

最後に山田太介君の句「夢だけは壊せなかった大震災」。何もかも壊した大震災でも自分の夢は壊せなかった。彼の夢は岩石学者。現在、地球物理学科で研究中。大震災で壊れなかった岩石学者になる夢は現在も続いている。千年後の命に思いをさせ、これから生まれてくる命にあの悲しみや苦しみを経験させたくないという女川中の生徒の思い。



様々な人生の岐路で困難があっても可能性を信じ挑戦し成長してほしいが、原点は自分の命と周囲の人たちの命を守り大切にすること。君たちが家庭・学校・地域から日本や世界へと視野を広げ、社会の中で自分は何ができるのか考え未来を切り拓けるよう大きく成長していくことを期待しています。

## みんなで考えよう！ 何のために勉強をするのか？ …②



なぜ勉強しなければならないか…「宿題を提出しなければならないから」「テストで悪い点を取らないため」「受験に必要だから」…こんな事情からかもしれません。

**夢を実現しようとする高校生** …「勉強」に対してマイナスイメージばかりで考えると「方程式を勉強したら将来、何の役に立つの？」「古典なんて今では使われていない言葉の勉強より英語の方が…」「歴史の年代を暗記したところで…」という声になりそうです。「勉強は夢の実現のため」という高校生の意見を紹介します。

### 看護師になるため看護以外の勉強も

私は衛生看護科の高校へ行っております。准看(看護師)の資格が取れます。しかし、看護の勉強は三分の一ぐらいで、あとは普通高校と同じ勉強をしています。看護師になるにしたって、三角関数とか微分積分とかなんてあんまり関係ないと思うし、どう理屈をつけたって、今の教育は社会に出た時に役に立たないことが多すぎるとは思います。

私も一時、KEIKOさんと同じように考えていました。しかし、私は高等看護師の学校か、大学の医学部看護科に進みたいのです。それには、わけの分からない数学も物理も勉強しないと、試験に受からないわけです。

どんな夢でも、その夢を実現しようとするなら自分のやりたいことだけやって実現するということは、ないのではないのでしょうか。私は、看護師になるという自分の夢を実現したいから、難しい勉強も看護以外の勉強もしています。

神奈川県 あっぱれ(高校2年 17歳)

### 大人になっても…生涯続く「学び」の姿勢 …大人として

「なぜ勉強するのか」と疑問を投げかけられた時、どのように答えるのでしょうか。

「大人が仕事するのと同じように、子どもにとっては学校に行って勉強することが仕事だから」「今は勉強をする意味が分からないかもしれないけれど、いつかきっと身に付けた力が役に立つ時が来る」「今のうちにしっかり勉強しておけば、受験にしても、将来の選択肢が広がるから」など…



これらは子どもよりも長い時間を生き、すでに多くの経験を積んできた「人生の先輩」としての実感のこもった言葉でもあるでしょう。

しかし、勉強は「学校へ通っている間にだけ行うもの」とは限りません。卒業して社会人になってからも、仕事をする上で必要となる知識を身に付けるための勉強や、自分自身の興味・関心に応じて自主的に取り組む勉強など、様々な形で「学び」は続いていきます。

中には「受験勉強に全力を尽くしたことで、問題と粘り強く向き合って乗り越えるための力や、目標に向かって努力を続ける姿勢が身に付いた」と感じている人も多くいます。

生涯を通じて主体的に学び成長し続ける…より良い人生を築いていくための基本姿勢を学校へ通う間に身に付けているのかもしれない。その意味で、大人にも子どもにも共通する大切な課題として「人は何のために勉強をするのか」という問いを改めて考えてみたいものです。

